

とが難しいが、早期の実現に向けて事業化の促進を図る。
地区計画は、道路や広場の整備を5年間で完了することを目標にしている。

災害対策事業

Q 計上されている、避難所環境改善対策経費の概要は。

A **安心安全推進課長** 大規模災害発生時に避難所となる学校の体育館について、避難所環境の改善を図ることを目的として、空調導入に向けた設計の委託料を計上した。また、平常時においても、学校教育や学校開放での市民スポーツの振興などに活用でき、有効性があると判断した。



情報教育環境活用支援事業

Q ICT支援員の業務内容の詳細は。

A **学校教育課長** 教員との相談に基づいた、学習支援ソフトなどを活用した教材の作成や、授業への参加などを予定している。

図書館運営事業

Q 資料費を前年度1500万円から2000万円に増額した理由は。また、拡充する事業の詳細は。

A **生涯学習スポーツ課長** 資料が古くなってきていることが、近年の利用率の低下の大きな要因の一つであると認識している。そのため、指定管理者からの業務提案内容を精査し、資料費の増額分を捻出した。拡充する内容は、書籍除菌機の導入、託児サービスなどの子育て支援の充実、ホームページのリニューアル、電子図書館の本格導入などである。



特別会計予算 () は、前年度予算額

国民健康保険	64億1803万円 (64億4684万円)	一本松土地区画整理事業	1億6854万円 (2億1364万円)
後期高齢者医療	8億7491万円 (8億6064万円)	若葉駅西口土地区画整理事業	3億8803万円 (3億6602万円)
介護保険	44億1万円 (50億3681万円)		

後期高齢者医療

9年度の保険税水準の準統一に向けて改正を検討していく。
Q 対象者数の現状と今後の見通しは。

A **保険年金課長** 平均被保険者数は、2年度を除いて毎年度約600人を超える増加で推移している。団塊の世代が後期高齢者になる7年度には、被保険者数が1万2365人と推測している。

今後は、2年ごとに保険料を見直しながら、健康相談やフレイル予防などで医療費の削減を図り、保険料の適正化に努める。



介護保険

Q 成年後見制度利用促進事業、紙おむつ給付事業などの新規事業で特色ある事業は。

A **健康長寿課長** 成年後見制度利用促進事業では、中核機関を新たに設けて利用促進などの充実を図る。紙おむつ給付事業では、特別給付費への移行により対象者を拡充するなど、

利用ニーズに応じていく。ほかに、高齢者の実態把握調査の実施、生活支援コーディネートターの市直営部分の導入などを行う。

一本松土地区画整理事業

Q 区画整理事業の進捗状況は。

A **区画整理課長** 予定していた建物移転が2戸残っているが、移転をしないで済むこととなった。計画されていた道路築造工事については、3年度で全て完了する見込みである。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 6年度に区画整理が終了した後の用地の利活用の考えは。

A **都市整備部長** 3年度の道路工事が終了した後に、公園用地については、一日でも早く市民に使っていただけるところに造成する。公園としての整備は、市内全体で優先順位を付けて行っていく。



若葉駅西口周辺